

# 秋の法要ご案内



## 当日のプログラム

日時 9月7日(日)

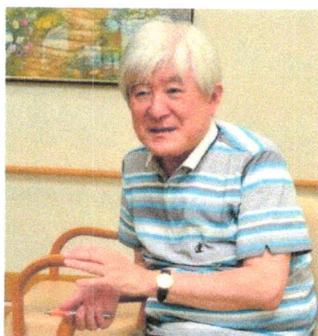


13時～ お勤め

13時半～ 福祉講座 小笠原 望 医師

「にんげんはおもしろい」

\*一般聴講希望の方は、要電話申込み



## 講師紹介：おがさわら のぞみ 小笠原 望 医師

昭和 26 年 高知県土佐市生れ  
昭和 51 年 弘前大学医学部卒  
同年 徳島大学第一内科入局  
昭和 52 年 高松赤十字病院内科勤務  
昭和 63 年 同病院神経内科部長  
平成 9 年 大野内科副院長（旧中村市）  
平成 12 年 同院長  
平成 17 年 医療法人 関(とき)の会  
大野内科院長（四万十市）  
平成 30 年 1月よりドキュメンタリー映画  
「四万十～いのちの仕舞い～」を全国で上映中。  
平成 31 年 同 医師 田舎のかかりつけ医として  
訪問診療、神経難病、こころのケアに  
白髪のゲリラ医者として奮闘中。

著書：「医への想い しなやかに」医学書院。

「いのちを支える」四国新聞社。

「いのちばんざい」高知新聞社。

「百歳との握手」(コスモス)

「いのちの仕舞い」(春陽堂)

「診療所の窓辺から」(ナカニシヤ出版)

「診療所の窓辺から」をスタイルアサヒに

連載中

「聴診器の向こう側」(看護の科学新社)

「大河のつばやき」(自費出版)

いつもありがとうございます。住職の大山です。まだまだ暑さが厳しいですが、お元気でしょうか。この9月は福祉をテーマにして秋の法要を勤めます。小笠原先生から「臨床の中で、ずっと人間を見てきました。それぞれの人に個性があり、病気もそれぞれです。若い方もそれぞれ、こころも不安になったり落ち込んだり、いろいろありながら日々が回ってゆきます。私の出会ったいろいろな人の話を通じて、にんげんの持つ面白さをお話ししようと思います。」というメッセージを頂いています。ぜひお参り下さい。

